学校番号	328

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「標準　文学国語」（第一学習社）						
副教材等	「新常用漢字必携　パーフェクトクリア　改訂版」（尚文出版） 「新　コンセプト　文学国語」（浜島書店） 「プレミアムカラー　国語便覧　改訂版」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な時代や歴史的背景を持つ文学作品に触れ、文学の世界に親しみましょう。
・文学史的事項で作者について知り、時代背景を確認して文学作品への理解をより深めましょう。
・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み、共通点や相違点から作品や文化への理解を深めましょう。
・予習と復習を欠かさないでください。本文を読み、分からない語句を調べることは予習の基本です。復習は授業を思い起こして本文を読み直し、他者に教えるつもりで説明できるようになりましょう。
・提出物は期限厳守。定期考査は学習計画を立てて勉強してください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	豊かな認識へと導く。 ［教材］ 「旅する本」 「富岳百景」	a：日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容について積極的に考え、自然に対するものの見方について理解を深めようとしている。 b[読]：内容や構成、展開、場面設定などを的確に捉えている。 c：粘り強く本文を読み学習課題に沿って、その構成や展開・表現について説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	小説から情景や心情を読み取り、題材に応じて情報を収集、整理して、表現する。 ［教材］ 「清兵衛と瓢箪」 「鼻」	a：場面の移り変わりや登場人物の発言を読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとしている。 b[読]：文章の構成や展開、表現の特色などを的確にとらえ解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 c：「わたし」の役割や他の登場人物にとっての「わたし」がどのような存在であるかについて、積極的に自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	身近な題材を取り上げ、問題を発見する。 ［教材］ 「相棒」	a：短編小説の特色を理解しほんとの再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 b[読]：本文の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
2学期	小説から情景や心情を読み取る。 ［教材］ 「夏の花」	a：文学的な文章の種類や特徴について、理解を深める。本作を通して、 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：「私」の移動とともに場面が変わる文章展開を把握し各場面における「私」の心情を読み取る。 c：生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	出来事の経緯や人物のをもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。	a：文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 b[読]：内容や構成、展開、描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

	［教材］ 「血であがなったもの」	する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 c:作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめ戦争の体験を意味づけ、考察させ自身の生活・生き方について深く考え向上させる。	小テスト	ノート	ノート 振り返りシート
	［教材］ 「ひよこの眼」 「卒業」	a:物語の展開と出来事を整理しながら、それぞれの心情を的確につかみ、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 b:〔読]:内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 c:生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
3学期	文体や表現の技法に注意して、人物の心情や情景を描写する方法を学ぶ。 〔教材〕 「考えの整頓」 『伊勢物語』「筒井筒」	a:文体の特徴や表現の技法について理解し、活用する方法を学ぶ。 我が国の言語文化の特質について理解を深める。 b:古典作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学び、それを題材として小説を各翻案を通して、門後辺りを創作する。 c:読み手の関心が得られるような文章の攻勢や展開を工夫する。文体の特徴や修辞の働きによって読み手をひきつける工夫をしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 〔教材〕 汚れちまった悲しみに 永訣の朝	a:詩の中の内容、構成、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について学ぶ。 b:〔読〕繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。 c:我が国の言語文化の特質について深く理解し、詩の中に込められた作者の心情などを読み取り、自分の考えでまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ~~話すこと／聞くこと　…　（　　）時間~~
- 書くこと　…　（　１５　）時間
- 読むこと　…　（　５５　）時間